

思想信条の違いを超えて、 戦争法に反対を



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野◆安全保障関連法案(戦争法案)の廃案をめざして◆憲法学者、元内閣法制局長官、元最高裁長官など法に携わる方々の大半が憲法違反だとしている。国分寺市としても看過できない問題だ。法案を撤回するよう国に求めるべき

市長この法案は本当に憲法と微妙な立場にある。私がこの場で意見を述べることは控えたい

幸野憲法という物差しで判断が出来なければ市長としての資質が問われることになる。この法案は核兵器も運べるとのことであり、非核平和都市宣言をしている市として相いれない。

市長そのことについては今初めて聞いた。見解を持ち合わせていないので控えたい。

幸野◆駅前再開発行政から決別すべき◆国分寺駅北口再開発によって、市の財政は多摩26市で土木費は1位、民生費(福祉や子育て等)はワーストクラス、基金(貯金)も最下位に。今度は西国分寺駅北口の再開発が浮上している。これ以上、さらなる再開発はやめるべき

部長都市マスタープランの中で一定の手法は示された。ただ、規模や内容は全くの白紙だ。

幸野◆再開発よりもバリアフリーのまちづくりを◆西国分寺駅の東口開設や恋ヶ窪駅の東口開設、ぶんバスの拡充、道路の安全対策など市全域にバリアフリーを進めるためにバリアフリーの基本構想を策定すべき。

部長平成19年策定の国分寺駅周辺まちづくり構想に記載したが、現在取り組んでいない。

幸野◆国分寺駅周辺の駐輪場増設を◆

副市長費用をかけない方向で検討している。

国による社会保障削減路線から 市民を守れ



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

<問題山積のマイナンバー制度は延期を>

岡部：マイナンバー制度において個人情報の流出や不正使用を防ぐ対策は万全なのか。

政策部長：大変重要で有効なシステムであり、必要かつ早く導入が必要。

一般会計決算議案に対する討論の要旨

10月1日の本会議で平成26年度一般会計決算議案に対する表決に先だち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番で掲載しています。

討論

市政運営に更なる期待、 抜本的な改革断行を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ(所属7名・賛成)

平成26年度決算については、井澤市長が就任されての初めての予算編成、予算執行の年でありました。仕事のやり方を一からやり直し、市民目線にたった市政運営をするために、予算をゼロベース部局積み上げ方式で編成し、市民にとって必要な事業を先送りしないという姿勢は

岡部：個人は(個人番号を)他人に不正に盗み見られたりすることのないように厳重に管理する必要が生じる。大きな負担ではないか。

政策部長：個人ナンバーが悪用される可能性は低い。(しかし、詳しい根拠は示さず。)

岡部：制度実施の延期を国に求めていくべきだ。また、現場を担う自治体が問題や課題を把握して国に伝えることが必要だ。

<保育、子育て支援の充実を>

岡部：子ども子育て支援新制度によって、保育の利用者負担は(保育園の判断で)上乗せ徴収や実費徴収も制度上は可能とされている。市として民間の園の意向を把握し今後の保育施策に生かしていく必要がある。

子ども家庭部長：それぞれの園が独自性を出すために実費徴収を行なうことも考えられる。保護者の選択が広がることも考えられる。

岡部：むしろ負担できる額、家計の状況に応じて受ける保育も決まってくる、選択をせざるを得ないように新制度によって変えられようとしている。

この他、子ども家庭部長からは、「子育て世代包括支援センター」の開設に向けて努力していくこと、親子ひろばの常設の拠点を3ヵ所設けることについて答弁がありました。

国立市の国立駅北口前 改造図面に異論を申せ



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐 先月までの国立駅北口広場整備計画では、送り迎えの停車ができるスペースが2、3台分しかない為、国立市と協議を求めました。その後、国立市は交通管理者である警察と協議、指導され、逆にその停車スペースは全く無くなってしまった。一体、どこに停車すべきか？**都市建設部長** 一般車両の特定した停車スペースは計画してないという事で、各自が安全な場所に、例えば駅前にタクシー乗り場等ができ、その前後は可能かと思われる。

甲斐 タクシープールに入るための道路に縦列停車してもよいのでしょうか？タクシープールだって6台分しかないのに、タクシープールへの誘導する道路は入口は幅狭であるから、結局、横断歩道前へ停車することになるのか？横断歩道前の停車によって市民が人身事故に遭った教訓を生かさなくては人命が脅かされる。改めて国立市と協議を越えた交渉にあたるべき。

国立駅北口駐輪場 所有者による民間運営を願うにあたって、同料金で長期安定的な運営をお願いしていただきたい。

国立駅西口が開設予定。高架下の国立市駐輪場は1,600円/月。国分寺市民にも広報すべき。『阿久根市の50才になって運動会に帰ってきて』という事業は現在小学生である児童も含め、故郷感を醸成する。ふるさと納税は商品合戦になっているが本来の趣旨はそのような取組からだ。当市のふるさと納税のペンシルロケットは高値だ。**政策部長** 各パーツ、全て市内業者に限定し発注、1,000個という少数の条件悪による。

将来を見据え 早急な人事体制の立て直しを！



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村=来年度末には管理職の大量定年退職を迎えるが、人材の育成が遅々として進まず、民間も業績回復基調で人材を求めるのは難しい。そこで、都から一般事務職を受け入れてはどうか。**総務部長**=都職員は優秀な人材が多く、それらの経験・知識・仕事のノウハウを国分寺市に活かせるメリットがあり、検討したい。

市長=都や国の仕事を学びながら、レベルアップを図っていくことが必要だと思っている。

木村=新規職員の採用についても、今年は試験日の前倒しで、他市の試験日と重なったがそれでも国分寺市を選択した受験者は大変期待できる。今後も試験に当たっては攻めの姿勢を。

総務部長=同感である。今後、1人でもいい人材が国分寺市を受験してくれる日程を組みたい。

木村=加えて、有能な嘱託職員の、正規職員への登用や議会傍聴研修を復活し、議会を生で実感し、今後に生かす取り組みもお願いしたい。

総務部長=嘱託職員には非常によくやってもらっている。どのような形がとれるか考える。議会傍聴も非常にメリットがあると認識している。

木村=個人情報も多数ある職員のPC内のデータの保存等のルールがない。早急な対応を。

政策部長=現状を調査の上、早々に改善を図る。

木村=市内には各界で世界的に活躍されている人材が多く、名誉市民や市の親善大使に任命し、市の魅力を発信してもらってはどうか。

市長=市内の著名人やJAXAの方にPRしてもらえたらいろんな意味で国分寺市をアピールできると思う。まずはそのための制度を作る。

大いに評価するものである。内容をみると、実質収支で8億円の黒字ということで、これまでの行財政改革の成果が出てきていることを評価する。また経常収支比率が93.7%ということで前年度より改善している。また一般家計に例えると普通預金に当たる、財政調整基金への積み増し、いわゆる借金にあたる公債費比率も前年度からみるとマイナス1.4パーセントということで財政的な数字も改善してきている。景気の動向をみてもアベノミクスの効果もあり、市税の歳入が増加傾向にあり、国の経済政策を評価するものである。しかしながら、今後の市財政を考えると、少子高齢化による、介護費や医療費の増加に伴う扶助費の増加が毎年みられるこ

とから、更なる経常経費の抑制を考えなければならない。また市役所や学校施設、公民館、スポーツ施設など市の公共施設が老朽化しており、これから大規模修繕や建て替え等、財政的にも計画的に考えていかなければならない。また26年度決算の監査報告の中でも指摘のある、分割発注や予算流用などこれから更に改革していかなければならない点もある。26年度は市制施行50周年の年でもあり、今後のさらなる飛躍に向けて井澤市長に期待し、市民サービスの向上住民福祉の向上に尽力されることをお願いいたします。